

経営比較分析表（令和5年度決算）

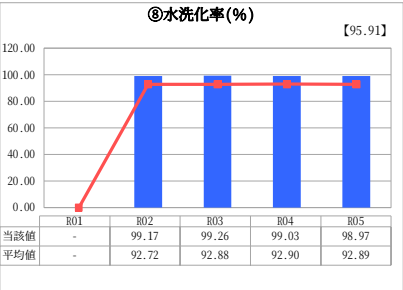
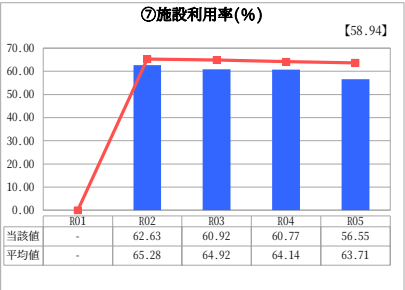
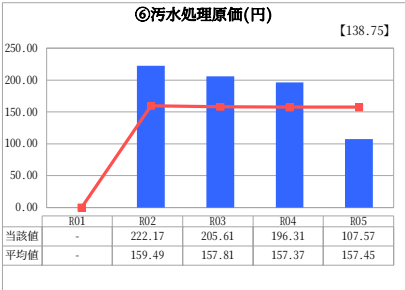
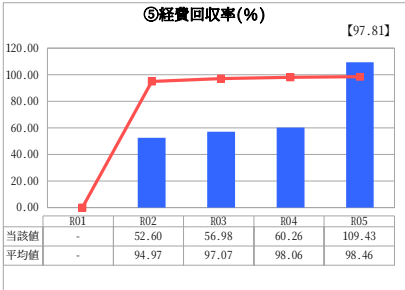
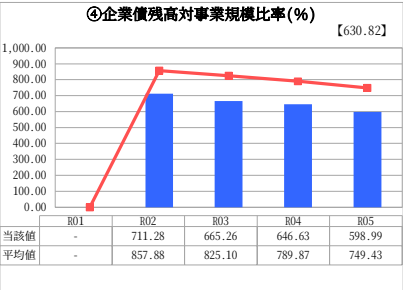
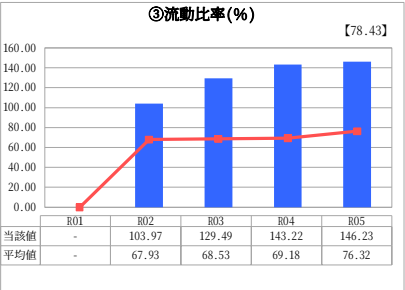
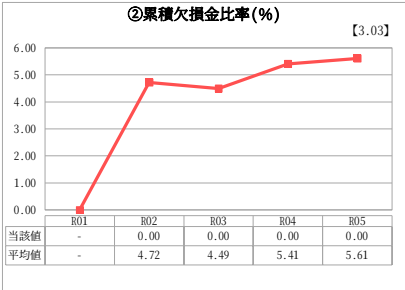
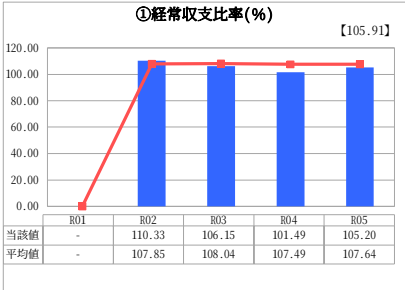
岐阜県 関市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	68.70	65.09	66.73	2,365

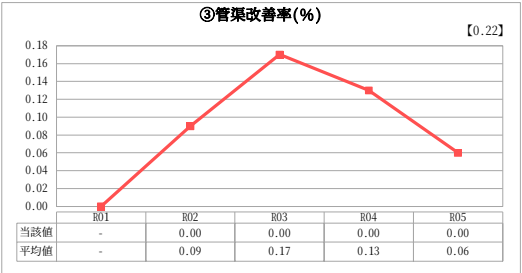
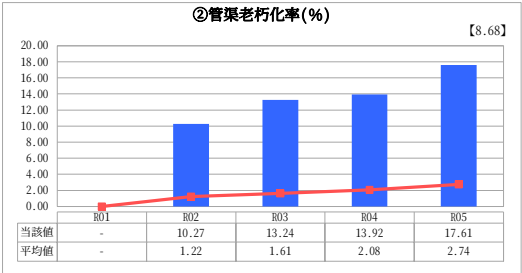
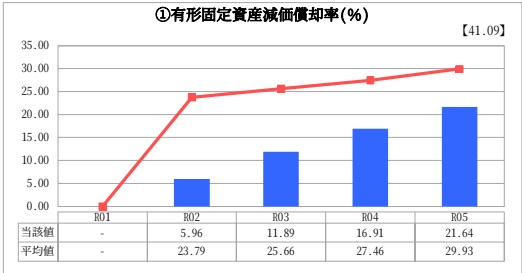
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
84,825	472.33	179.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
54,876	18.72	2,931.41

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
□ 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市公共下水道事業は、令和2年度から公営企業会計を適用しています。
流動比率は100%を上回り、企業債残高対事業規模比率は全国平均・類似団体平均を下回る健全な経営を続けています。
経費回収率は100%を上回り、汚水処理原価は全国平均・類似団体平均を下回っています。
今後は施設の老朽化対策等による支出の増加が見込まれ、経営指標への影響が予想されますが、令和6年度使用料改定に伴う使用料収入の増加により、数値を改善してまいります。

2. 老朽化の状況について

管路老朽化比率は全国平均・類似団体平均を上回っています。これは公共下水道が昭和42年に供用開始してすでに50年以上経過しているためです。
管路については、委託により施設の健全性を確認し、管路の更新の要否については検証をしています。
また、設備の老朽化についても、計画的に更新等を進めるため、ストックマネジメント計画を令和4年度から5年度にかけて策定をし、施設の延命を図るとともにライフサイクルコストの削減に努めます。

全体総括

施設の老朽化に備え、令和6年度より使用料を増額改定することで必要な財源を確保します。
また、ストックマネジメント計画に基づき、施設の延命を図るとともにライフサイクルコストの削減に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。